

(1)令和6年度青森県事業実績

担当課	事業・業務名	実施時期 (期間)	対 象 国 (対象地域)	事業概要	実績数値
鉄道対策課	青い森鉄道需要開拓・拡大事業	R7.2.27～R7.3.1	台湾	台湾鉄道との姉妹鉄道協定を契機とする、鉄道を通じた台湾との交流の一環として、台湾の鉄道ファンを招請し、県内の鉄道ファンとの交流の機会を設けるとともに、青い森鉄道に乗車する体験をしてもらい、SNS等での発信・拡散による認知拡大を図った。	招請人数:2名
エネルギー・脱炭素政策課	国際核融合拠点環境整備事業	R6.4.1～R7.3.31	欧州等	日欧協力により六ヶ所村で実施されている幅広いアプローチ(BA)活動に関係する外国人研究者等及びその家族を対象とした生活支援等を実施した。	六ヶ所村におけるBA活動関係の外国人29名
自然保護課	世界自然遺産グローバルフォーラム出席等	R6.10.11～R6.10.12	大韓民国 (済州特別自治道)	世界遺産グローバルフォーラムに出席し、白神山地の保全と活用について発表を行った。また、済州特別自治道の世界自然遺産現地視察に参加するとともに、世界自然遺産フェスティバル開会式に出席した。	県職員3名派遣 (自然保護課長ほか)
県産品販売・輸出促進課	大連経済交流企業サポート事業	R6.4～R7.3	中国(大連市)	青森県大連ビジネスサポートセンターを運営し、県内企業のビジネス支援業務等を実施した。	ビジネス支援業務等 10件
県産品販売・輸出促進課	韓国インバウンド需要拡大事業(県産品販売・輸出促進課実施分)	R6.4～R7.3	韓国	韓国バイヤーを本県に招請し県内企業との商談を実施したほか、ソウルで開催された食品見本市に出展した。	・韓国バイヤー招請 2回 ・食品見本市出展 1回
県産品販売・輸出促進課	ものづくりグローバル展開事業	R6.4～R7.3	フランス	パリの日本産品販売店舗に青森県コーナーを設置し、本県の伝統工芸品の展示販売を実施した。	・伝統工芸品の展示販売 1回(約8ヶ月間)
県産品販売・輸出促進課	グローバルマーケットシェア獲得事業(東南アジア)	R6.4～R7.3	東南アジア	東南アジアバイヤーを本県に招請し県内企業との商談を実施したほか、タイで青森県フェアを開催した。	・東南アジアバイヤー招請 1回 ・青森県フェア開催 1回
県産品販売・輸出促進課	グローバルマーケットシェア獲得事業(豪州)	R6.4～R7.3	オーストラリア	シドニーで開催された食品見本市に出展したほか、オーストラリア国内向けのEOサイトで青森県フェアを開催した。	・食品見本市出展 1回 ・青森県フェア開催 1回
県産品販売・輸出促進課	香港県産農林水産品販路開拓支援事業	R6.4～R7.3	香港	香港バイヤーと県内企業のビジネスマッチングや、香港バイヤーを本県に招請し県内企業との商談を実施したほか、香港で開催された食品見本市に出展した。	・ビジネスマッチング 4件 ・香港バイヤー招請 1回 ・食品見本市出展 1回
県産品販売・輸出促進課	香港との絆づくり・交流深化事業	R6.4～R7.3	香港	香港で開催されたインテリア見本市に出展したほか、香港の工芸品関係者等を本県に招請し県内企業との商談を実施した。	・インテリア見本市出展 1回 ・香港工芸品関係者等招請 2回
県産品販売・輸出促進課	台湾県産農林水産品販路開拓支援事業	R6.4～R7.3	台湾	台湾バイヤーと県内企業のビジネスマッチングや、台湾バイヤーを本県に招請し県内企業との商談を実施したほか、台湾で開催された食品見本市に出展した。	・ビジネスマッチング 12件 ・台湾バイヤー招請 1回 ・食品見本市出展 1回
農林水産政策課	あおもり「農業DX」推進事業	R6.7.9～R6.7.15	オランダ	世界の農業先進国の農業を学ぶため、普及指導員等を対象とした先進地視察を実施した。	県4名、産技センター2名、民間1名、県議会議員8名
構造政策課	農業グローバル人材育成システム確立支援事業	R6.10～R7.2	オーストラリア、オランダ、シンガポール、ニュージーランド、マレーシア	農業のグローバル化に対応するため、農業を学ぶ学生や農業者を対象とした提案型海外研修の支援を行った。	5チーム(38名、うち引率・同行12名)
構造政策課	「あおもり型農村RMO」育成事業	R7.3～	台湾	農林漁業体験民宿や農業体験の魅力を伝えるため、繁体字のテロップを付けた動画を製作し、県YouTubeチャンネルに掲載した。	動画製作数:4本
構造政策課	「あおもり型農村RMO」育成事業	通年	台湾、タイ	農林漁業体験民宿を利用する台湾からの教育旅行団を歓迎した。また、農林漁業体験民宿を取り入れた教育旅行誘致のため、タイに相談窓口を設置した。	・迎えた教育旅行団数:3 ・相談件数:8件
構造政策課	あおもり農泊推進事業	通年	台湾	農林漁業体験民宿を取り入れた教育旅行誘致のため、台湾にコーディネーターを配置し、学校等を訪問してPRを行った。	・コーディネーター配置:1人 ・訪問先:9か所
りんご果樹課	台湾向け輸出りんごリスク低減対策事業費	通年	台湾、ベトナム	県産品販売・輸出促進課と連携し、青森県産りんごの輸出促進に向け、台湾行政機関との意見交換を実施した。	台湾派遣:4名

担当課	事業・業務名	実施時期 (期間)	対 象 国 (対象地域)	事業概要	実績数値
りんご果樹課	輸出りんご信頼向上推進事業	通年	台湾、タイ、ベトナム、インド	各国の輸出検疫制度に対する産地側の適切な対応のため、輸出検疫説明会、研修会を開催した。 タイ向け選果こん包施設の適合証明書を発行した。 台湾向け選果こん包施設の巡回指導、台湾及びインド検査官査察、ベトナム向け園地検査等へ対応した。	・説明会等 台湾2回、ベトナム1回、インド1回、タイ1回 ・査察対応 台湾1回、インド1回 ・タイ適合証明:2件
誘客交流課	三沢基地内大学県民就学推進事業	通年	アメリカ	三沢市への業務委託により、三沢基地内大学への県民就学推進を図った。	メリーランド大学入学者:8名
誘客交流課	国際交流員招致事業	通年	韓国 アメリカ	県が友好協定を締結している国から国際交流員を招致し、当該国際交流推進事業等に従事した。	2名
誘客交流課	外国人観光客誘客体制強化事業	通年	台湾	県が友好協定を締結している地域から国際交流員を招致し、当該国際交流推進事業等に従事した。	1名
誘客交流課	外国青年招致事業	通年	57か国	総務省、外務省文科省及びCLAIRの協力のもと実施される「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」にて、県内へCIR、ALTを招致する取り組みを行った。	173名
誘客交流課	済州・台湾友好交流基盤強化事業	通年	韓国(済州)	済州特別自治道との協定締結10周年に向けて、コロナ禍で停滞した友好交流ネットワーク基盤の回復・強化を図ることで、交流の裾野を拡大し、県民の国際理解の推進と相互地域の発展につなげる。	・済州特別自治道への訪問 1回 ・済州特別自治道トルハルバン前ねぶたの運行 1回
誘客交流課	済州・台湾友好交流推進事業(台湾関係)	通年	台湾(台中市)	台中市との協定締結10周年に向けて、友好交流ネットワーク基盤の強化を図ることで、交流の裾野を拡大し、県民の国際理解の推進と相互地域の発展につなげる。	・台中市温泉まつり参加 1回
誘客交流課	済州・台湾友好交流推進事業(台湾関係)	通年	台湾(台南市)	台南市との協定締結10周年に向けて、友好交流ネットワーク基盤の強化を図ることで、交流の裾野を拡大し、県民の国際理解の推進と相互地域の発展につなげる。	・知事による台南市長表敬1回
議会事務局 総務課	済州特別自治道議会受入事業	R6.9.23～R6.9.26	韓国(済州島)	済州特別自治道議会の副議長等が県内の各種施設等や本会議場を視察し、今後の青森県議会と済州道議会の交流について意見交換を行った。	受入9名
議会事務局 総務課	議長訪伯事業	R6.10.17～R6.10.24	ブラジル(サンパウロ州)	在伯青森県人会創立70周年記念式典等に参加し、先人の御労苦に敬意を表した。	派遣2名
学校教育課	語学指導を行う外国青年招致事業	R6.4～R7.3	アメリカ、カナダ、イギリス、南アフリカ、ロシア	中学校・高等学校等における外国語指導・教材作成など、本県における外国語教育の充実に資するよう、外国青年を招致した。	招致28名
学校教育課	済州国際青少年フォーラム派遣事業	R6.10.28～R6.11.3	大韓民国(済州特別自治道)	大韓民国の済州島で開催された国際青少年フォーラムに県立高校から選抜した4名の生徒と教員1名、事務局1名が参加し、SDGsなどのグローバル課題について英語によるディスカッションやプレゼンテーションを行った。	参加6名
学校教育課	青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業	R7.1.7～R7.1.11	台湾	県立高校から応募のあった生徒40名と教員5名、事務局1名が台湾台南市にある国際バカロレア認定校崑山高級中学にて協働学習プログラムに参加した。	参加46名
学校教育課	青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業	R6.5～R7.3	台湾	台北市の高校と覚書を締結した5校がそれぞれの締結校を訪問し、現地での交流活動に取り組んだ。その内、弘前工業高校と三本木高校の2校は、締結校の生徒の受入も行った。また、覚書を締結した5校に加え、交流を希望した1校において、オンラインでの交流活動を実施した。	6校
学校教育課	青森県高校生国際交流促進事業	R6.7～R6.10	オーストラリア、モンゴル、ニュージーランド	県内の学校で応募のあった東奥義塾高等学校、八戸工業高等専門学校、八戸聖ウルスラ学院高等学校の生徒が各校の計画に基づき、現地で探究的な学習に取り組んだ。	45名